

Monthly

a·con

まんすりー・えーこん

特集1: Earth Day Tokyo 2010直前特集

特集2: TABLE FOR TWO イベント報告

特集3: 2010年度・チャレンジ宣言!

2010年4月号

今回はSmile Park第一弾中国・南京PROJECT作品を紹介致します。

京都や奈良の神社に存在している『護美』という言葉をご存知でしょうか？この漢字を初めて見たのは、私がまだ学生だった頃です。

古来中国から渡ってきた日本の漢字には、現在も中国と同じ字体のものが存在しています。しかしながら、そのニュアンスが違ったり、まったく違う字体に置き換えられたりしているものがあります。私はこの言葉のニュアンス、解釈の違いに日本と、中国の考え方の違いがあると面白さを見出していました。そんな時、ふと思い浮かんだ言葉、それが『護美』でした。

一体、中国でゴミはどう書かれているのか？早速、中国のゴミの字体を調べてみました。中国のゴミ、それはこう表現されていました。
ラージ＝汚いもの、いらぬもの

美しさを護る、護美という言葉は、日本人特有の考えで作られた字体だったのです。



美しさを護る

＝自己の心の美しさを護る

ゴミを捨てるという行為は自分のみならず、良くも悪くも、環境、他人に影響を及ぼすこととなります。要するにそれは、他(人や環境)に配慮する心が表れるということなのではないでしょうか。

誰もが行く、いらぬものを捨てるという行為、その時に少しでも護美という気持ちがあったら素敵だなと思います。ゴミ袋(ゴミを捨てる袋)ではなく、護美袋(美しさを護る袋)そんな袋を作ってみました。

※ 護美袋

値段：200円(税込)

特徴：100%再生原料使用、日本の職人技術によって生成

購入／問い合わせ：kosaka@smile-park.com

sugiX プロフィール

1982年生まれ。静岡県浜松市出身。日産自動車デザインセンターを経て、2009年5月よりSmile Parkの活動を開始する。『人と出合いこそが最大の勉強』と考える体育会系。(小～高バスケットボール部、インターハイ出場。大学ボクシング部、京都府Fe級新人王)

Topics

colum X	P1
Topics	P2
a-conとは・・・	P2
特集①	
Earth Day Tokyo 2010 直前特集	P3
a-con NEWS HEADLINE	P4
特集②	
TABLE FOR TWO イベント報告	P5
特集③	
2010年度・チャレンジ宣言！	P7
新連載予告	P8
明日に役立つ、a-conn的読書論	P9
NICEコミュニケーション事例	P9
海外NPOレポート	P10
編集後記	P10
事務局だより	P11
a-con WEBサイト	P11

a-conとは・・・

正式名称は“特定非営利活動法人NPOコミュニケーション支援機構”。
“action unit for communicative NPO”、略してa-con(えーこん)。

「NPOの活動を、どう世の中に伝えていったらいいか」
ということ、そのNPOの方たちと一緒に、
同じくらい真剣に考えて、
「コミュニケーション」という切り口でお手伝いするユニットです。



2010年4月17日・18日、代々木公園のメイン会場を中心に、「アースデイ東京2010」が開催されます。今回の特集では、NPOという視点でアースデイ東京をどう見ていくかについてまとめていこうと思います。

●アースデイ(Earth Day)とは

1970年ウィスコンシン州選出のG・ネルソン上院議員が4月22日を「地球の日」とであると宣言しアースデイが誕生。それが全米への呼びかけへとつながり、1970年の最初のアースデイは、延べ2000万人以上の人びとが何らかの形で、地球への関心を表現するアメリカ史上最大のユニークで多彩なイベントとなった。日本では、2001年からアースデイ東京が開催され、今では10万人を動員する巨大イベントへ成長している。

注目ポイント!

ポイント①

運営主体「アースデイ実行委員会」には名だたるNPOの中心メンバーの方々が名を連ねています。アースデイのために多くのNPOがコラボレーションし、このイベントを作り上げています。そして、NPOの枠をも超えた、多くのボランティアによって、アースデイ東京は支えられているのです。

ポイント②

会場内には、アースデイNPOビレッジが設けられ、様々な分野で活躍しているNPOが、ブースで活動紹介をしています。一度に多くのNPOと繋がれるチャンス！今まで知ることなかった素敵なNPOとの出会いがあるかも。NPOの入門編としても、NPOについて知る良い機会になることでしょう。

ポイント③

運営主体「アースデイ実行委員会」には名だたるNPOの中心メンバーの方々が名を連ねています。アースデイのために多くのNPOがコラボレーションし、このイベントを作り上げています。そして、NPOの枠をも超えた、多くのボランティアによって、アースデイ東京は支えられているのです。

アースデイでのナイスコミュニケーション

①Twitter

アースデイ東京では、Twitterアカウントを解説し、イベント情報や裏方情報などをつぶやいています。

「つぶやき」を通して、会場内にいる人もそうでない人も、リアルタイムで起こっていることを感じ取ることができるでしょう。

<http://twitter.com/earthday>

②速報ステーション

アースデイ東京でのリアルタイム情報として重宝するのが、greenz.jpによるアースデイ東京速報ステーション。取材した情報を、会場内の速報ステーションブースから、Twitter、ブログ、Flickr、Ustream等のソーシャルメディアでリアルタイム発信。

<http://greenz.jp/2010/04/09/ed2010-sokuhou2/>

③WEBチラシ

会場内では大量の情報が行き交い、各ブースでも沢山チラシが配布されますが、アースデイ東京では参加団体のチラシをWEBで公開し、そこからダウンロードができます。ゴミの削減や情報の整理、回り切れなかった団体の情報等もWEBで入手可能！

<http://flyer.earthday-tokyo.org/>

国際青年環境NGO 新勸オリエンテーション

日時:2010年5月1日 14:00~16:30

場所:JICA地球ひろば

アースデイや野外ロックフェスなどでゴミの分別のボランティアのコーディネートをしているA SEED JAPANのオリエンテーションです。環境・社会問題などを、NGOでの活動で解決していきたいと思っ

ている方はぜひご参加ください！
http://www.aseed.org/info/info10_0409.html

NPO法人ジャパン・ツリーハウス・ネットワーク 新緑デイキャンプ

日時:2010年5月2日 10:00~20:00

場所:高尾駅北口改札前集合

都心から一番近い高尾の森とツリーハウスでのんびりデイキャンプ。HIDEAWAYのおいしいオーガニックランチとたき火BARでアウトドアごはんを食べたり、クライミングで樹上の景色を楽しんだり、ツリーハウスやハンモックで静かな時間をお過ごししたり、春になって自分をチューニングするには最高の環境です。

http://www.treehouse.jp/news_jtn/2010/04/06/daycamp/

エイズ孤児支援NGO・PLAS

世界エイズ孤児デーキャンペーン チャリティパーティーネットワーク

日時:2010年5月7日 19:00~21:00

場所:SPAZIO(地下1階イベントスペースSPAZIO1)

JR山手線恵比寿駅徒歩5分

5月7日は世界エイズ孤児デー。エイズ孤児への関心が世界的に高まる日です。この日にみなさんにお集まりいただき、パーティーを楽しむことで、気軽にエイズ孤児支援に貢献していただけます！

<http://www.plas-aids.org/blog/waod/2010/04/5/?>



TABLE FOR TWO

BOX FOR TWO 発売記念 イベントレポート

TABLE FOR TWOをご存知でしょうか？企業などの食堂で栄養バランスの取れたヘルシーメニューを提供し、その代金から1食当たり20円をアフリカの学校給食のための寄付にする、という取組です。

このTABLE FOR TWOと社会人プロボノチームによるプロジェクトがこの春、実を結びました。

BOX FOR TWO＝寄付金付きお弁当箱プロジェクト

プロジェクトのきっかけは、Compass Pointという社会人の勉強会。TABLE FOR TWOの事務局長、小暮真久さんがゲストの勉強会で行ったワークショップがきっかけでした。勤め先に食堂がない人、お弁当派の人も、TABLE FOR TWOに参加できるような仕組みを作りたい！そんな想いからBOX FOR TWOプロジェクトが動き出しました。その日から約1年、協力してくれるお弁当箱メーカーがまったく見つからない、チームメンバーが忙しくなかなかミーティングが開けない、などなどの困難を経て遂に、3月20日に発売となりました！そして3月28日(日)には、広尾のJICA地球ひろば・フロンティアカフェにて、「TABLE FOR TWO × プロボノ「BOX FOR TWO」発売記念イベント！～Join！1 day プロボノ～」と題したイベントを開催しました。



今回発売したランチョンマットをイメージしたオリジナルポスター。コピーライターもプロボノでご協力いただきました！

イベントでは、BOX FOR TWOの発売をお祝いするだけでなく、プロボノへの参加に関心をもつ人たちに、「お弁当箱がより広がっていくためにはどうしたらいいのかを一緒に考える」というプロボノをやらせてもらおう！と、プログラムのメインとして参加型のワークショップを行いました。

会場には60名以上が集まり、ワークショップはもちろん、会場を巻き込んだゲームを通してのアイスブレイクもとても盛り上がりました。また事務局長小暮さんによる最近のTABLE FOR TWOの活動についてのお話には、会場全体が聞き入っていました。

ワークショップでは、参加者から「1day プロボノ」の何ふさわしい、クリエイティブかつこれからの可能性が期待される案が数多く出され、その中から3チームがそれぞれ「やりま賞」「PR賞」「夢があるで賞」を受賞。

お箸、ランチョンマットなどBOX FOR TWOお弁当アイテムがプレゼントされました。もちろん、会場ではBOX FOR TWOの販売も行われ多くの方にご購入いただきました。お弁当販売とイベント実施により、今回のイベントを通して79,392円（給食：約3,970食）をTABLE FOR TWOに寄付することが出来ました。これからも、TABLE FOR TWO社会人プロボノチームは活動を続けていきますので、関心のある方は気軽にご連絡ください。

BOX FOR TWOのしくみ



レポート：荒川

Mail: bft@tablefor2.org

「BOX FOR TWO」とは？

売り上げの一部が、アフリカの学校給食のために寄付になる、オリジナルのお弁当箱です。

こころと からだと 地球に優しいお弁当



こころに優しい
「作る」を始める

まず詰めてみよう
自分に出来ることを増やそう
作る楽しさを感じよう
きょうの一日に、新しい喜びをひとつプラスしよう
作る大変さも覚えよう
そして自分を褒めるのもいい
忘れていた誰かに感謝できたら なお素敵
お弁当はただ「作る」だけでたくさんの楽しさを生む

BOX FOR TWO特設サイトはこちら
<http://tablefor2.org/bft/>



BOX FOR TWOプロジェクトの
リーダーがプロジェクトの
経緯について発表しました。



お弁当箱は女性用2色、
男性用2色の4色展開
デザインにも
こだわりました



TFT事務局長小暮さん
TFTの近況について
発表していただきました。

新しいこと、やってみよう！

2010年度・チャレンジ宣言！企画始動

新年度、新しい学年、新しい年次になり、気持ちも引き締まる季節。そんなフレッシュな気持ちの中で、新しいことにチャレンジしたくなる人もいるのではないのでしょうか。（「四月病」なんて言葉もありますが・・・）

そこで、monthly a-con では、そんなあなたのチャレンジ monthly a-con の読者が、今年度どんな目標を立てているのか、また、普段どのような生活を送っているのか、を徹底調査したいと思います！読者の実体が分かっちゃう！ 結果は次号大発表！

質 問 例

Q: 2009年はどんな年だった？

Q: ずばり、2010年度の目標は？

Q: あなたがボランティアや、NPOに興味をもったきっかけは？

Q: NPOの分野で、どんなことに興味がある？

Q: 今、一番興味のあることは？

などなど！！

▶ アンケートURL

<http://bit.ly/a4QQPi>



※お願い※

上記の URL/QR コードから、Web 画面に飛んでいただき、アンケートにお答えください。いただいた回答は、個人が特定されない範囲で monthly a-con に掲載させていただきます。ご協力のほどお願いいたします。

2010年度

monthly a-con は更に進化します! (予定)

新連載 2大レポート予告

現在、大好評連載中の『column X』『海外NPOレポート』に引き続き、新年度から、新たな連載レポートがスタートします。

新しい年度になり、a-con の仲間が東京、そして日本を飛び出して活躍を始めました。次号より、現地で活躍する a-con メンバーが、旬な話題をレポートしてくれます。

5月号からの monthly a-con も乞うご期待!

江戸っ娘秋田こまち化計画

**浅草で生れ育った江戸っ娘あずあずが、
秋田県に単身飛び込んで新しいことにチャレンジする奮闘記**



東京でNPO活動をしていたあずあずが新規一転!
秋田県でNPOの立ち上げに取り組んだり、
秋田県の伝統工芸に触れたり。
とにかく体当たりで新しいことにチャレンジしながら
秋田の「今」をレポートします。

次号より、(ほぼ)定期連載予定!

Asami's voice from UK

子育てしながら英国大学院進学を目指すAsamiのレポート。

広告ウーマン、20代双子のママの視点で、ソーシャルコミュニケーション先進国
イギリスの最新情報をレポートします。

イギリスより直送便、不定期連載。



悩む前に読むのが吉なノウハウ本 「アイデアは考えるな 柳澤大輔/日経BP」

仕事でも遊びでも、何か面白いことをしたいなあと思うときに限って出てこないもの。特に、大きなイベントなどを企画し



ているときなんて、頭を抱えてしまいますよね。「いいアイデアが出ないなんて、だから僕はダメなんだ……」みたいな。

この本は、そんな劣等感をふっ飛ばしながら、アイデアを出す方法を教えてくれます。それだけでなく、目の前のことに簡単に悩まされずに気楽に生きていく方法も教えてくれるなかなかの良書です。

とりあえず「乗っかる」という考え方は、固く考えてしまいがちな人にはうってつけかも。

NICEコミュニケーション事例

幸せの黄色いレシートキャンペーン

一人暮らしでも、ご家族での買い物でも役に立つのがスーパーの安売り。イオンジャスコ系列では毎月11日が割引の日になっています。

この日は黄色いレシートが渡されるのですが、実はそれには意味があるんです。

この日にだけ、写真のような投函箱が設置されます。

そこには地域のボランティア団体の名前と活動内容がそれぞれのボックスに書かれているんですが、その中に黄色いレシートを入れるとレシートに記載された合計金額の1%が、その団体に寄付される仕組みになっています。



この1%を寄付というところが、買い物心に火をつけますし、自分で地元の好きな団体を応援できるので好評だとか。皆さんもお得に買い物した後、レシートで寄付はいかがでしょう。

Skate Like a Girl

オリンピックとパラリンピックには感動しましたね！

今月紹介するのは、米ワシントン州シアトルに本部を有するスケートボード好きの女子だらけのコミュニティー、Skate Like a Girlです。同団体は、オレゴン州ポートランド、カリフォルニア州サンフランシスコにも支部を有するNPO団体。



「最初は怖くても、実際にスケートボードに挑戦し、転んで、服を汚して、時には怪我をしながらエネルギーを健全に発散できる場を作ってあげたい」と10年前に2人の女性によって設立されました。他の団体と連携しながら各地でスポーツを通じて女子に差別や抑圧に立ち向かう自信をつけさせ、未来のリーダーを育てることを目的としています。イベントを頻繁に催しており(男子禁制という訳ではなさそうです)、初心者にはギアの貸出しや指導も行っているみたいです。ホームページにはかわいい女の子の果敢な姿の写真や動画が多くて元気が出ます。是非のぞいてみて下さい。

<AINA>

<http://skatelikeagirl.com/>

編集後記

春といえば桜ですが、みなさんはお花見には行かれましたか？

営業職の私は、四月は新年度のご挨拶でお客様周りをします。

あるお客様にお花見の話題を出したところ、『桜を見ると笑顔がこぼれますね』という言葉頂きました。その言葉で満開の桜が頭に浮かんで来て、思わず笑顔がこぼれました。

桜の花は一つ一つ可憐なのに誇らし

げに華やかに咲いていて、見ていると嬉しくなって自然と笑顔になる気がします。

新年度となり、異動や入社など、去年とは違う空気の中、身の引き締まる思いや緊張感が、誰の心にもあるのではないのでしょうか。

みなさんにとって、笑顔のこぼれる出来事にたくさん出会える一年になりますように…。
<白土夏子>

事務局だより

参加者大募集！ ～今後のスケジュール

- ◆定例会：毎月第3土曜日に開催。活動状況報告、意見交換など…懇親会もやりますよ！
〔日時〕5月15日(土) 14:00～16:00
〔場所〕浜町区民館 5号室洋室
- ◆a-conゼミナール：テーマを決めて勉強会。a-conメンバー以外の方も参加いただけます。
「議事録の書き方」をテーマに開催！
〔日時〕5月15日(土) 17:00～19:00
〔場所〕浜町区民館 5号室洋室
- ◆オリエンテーション：a-conについての説明会です。ご興味をお持ちの方はご参加ください。
開催に向けて調整中。ご要望があればミニオリエンも開催します！！

a-conメンバー大募集！

NPO・ボランティア・コミュニケーションに興味がある、社会貢献してみたい、余暇を何かに使いたい…。そんなあなたはぜひ、a-conを覗いてみてください。a-conには色んな関わり方があります。

お問い合わせは、下記a-con事務局までお気軽にどうぞ！
mail : jimukyoku@a-conweb.com (担当:山田、佐藤)

a-con WEBサイト

a-conの活動や、その他いろいろな情報を発信しています。
WEBサイトへもぜひ遊びにきてください。

URL : <http://blog.a-conweb.net/>

発行元:特定非営利活動法人 NPOコミュニケーション支援機構(a-con)

編集長(代理):原文子

Writer:秋本康治 荒川あゆみ 緒方太郎 sugiX 福田愛奈

編集:石田優 秋本康治 緒方太郎 佐藤美弥子 白土夏子 森山紗也子 涌井健策